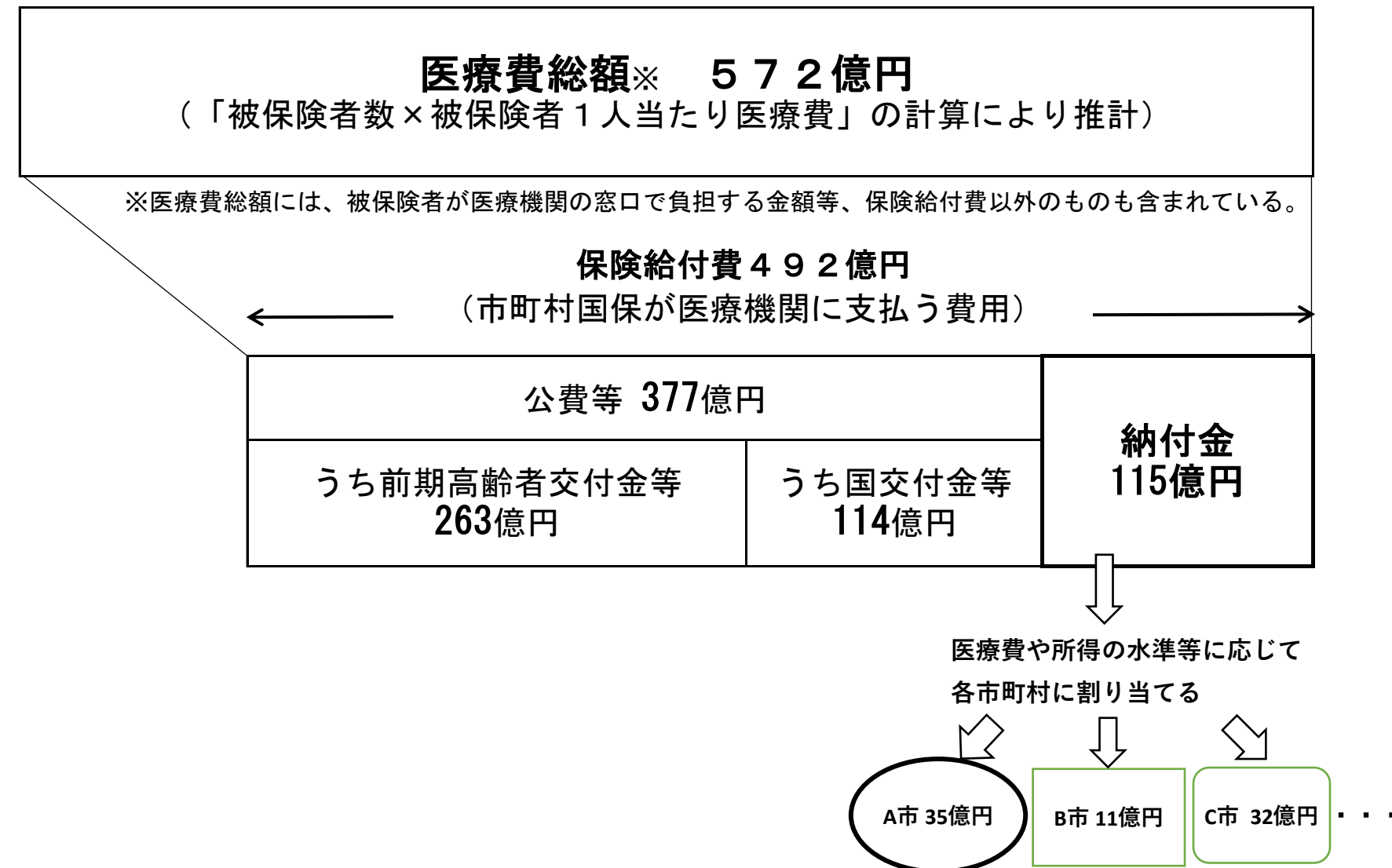


1. 納付金算定のイメージ（令和7年度推計値ベース）

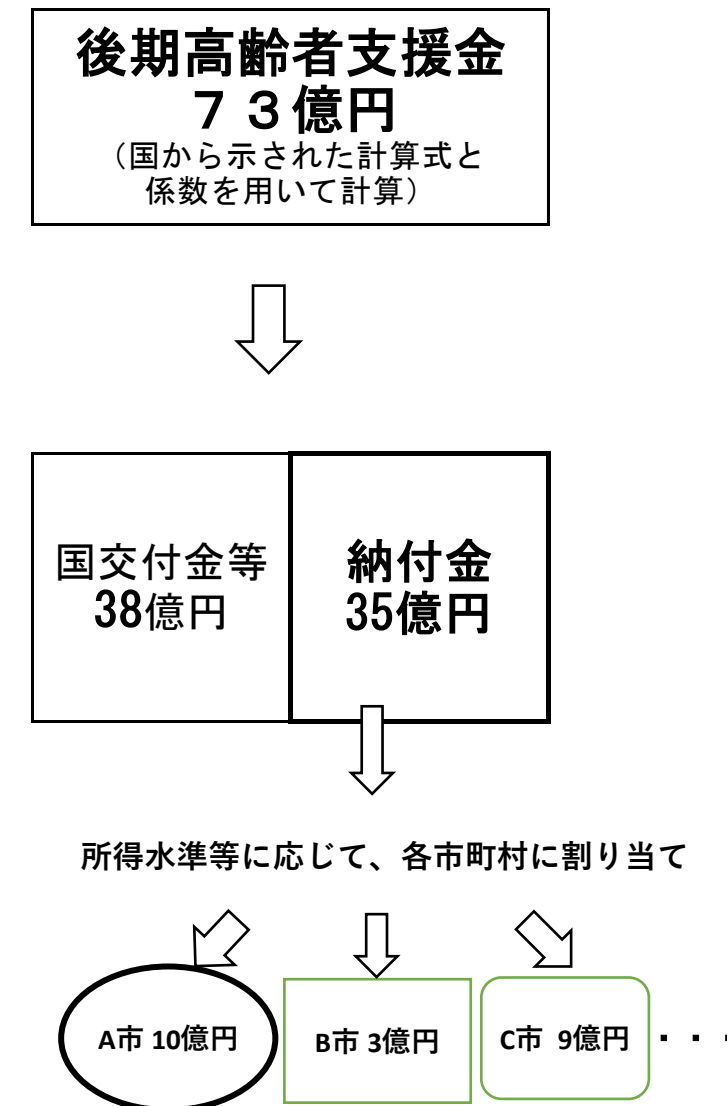
（1）医療分

保険給付費等交付金（保険給付に要する費用の財源として県から市町村に支出する交付金）の財源に充てる分



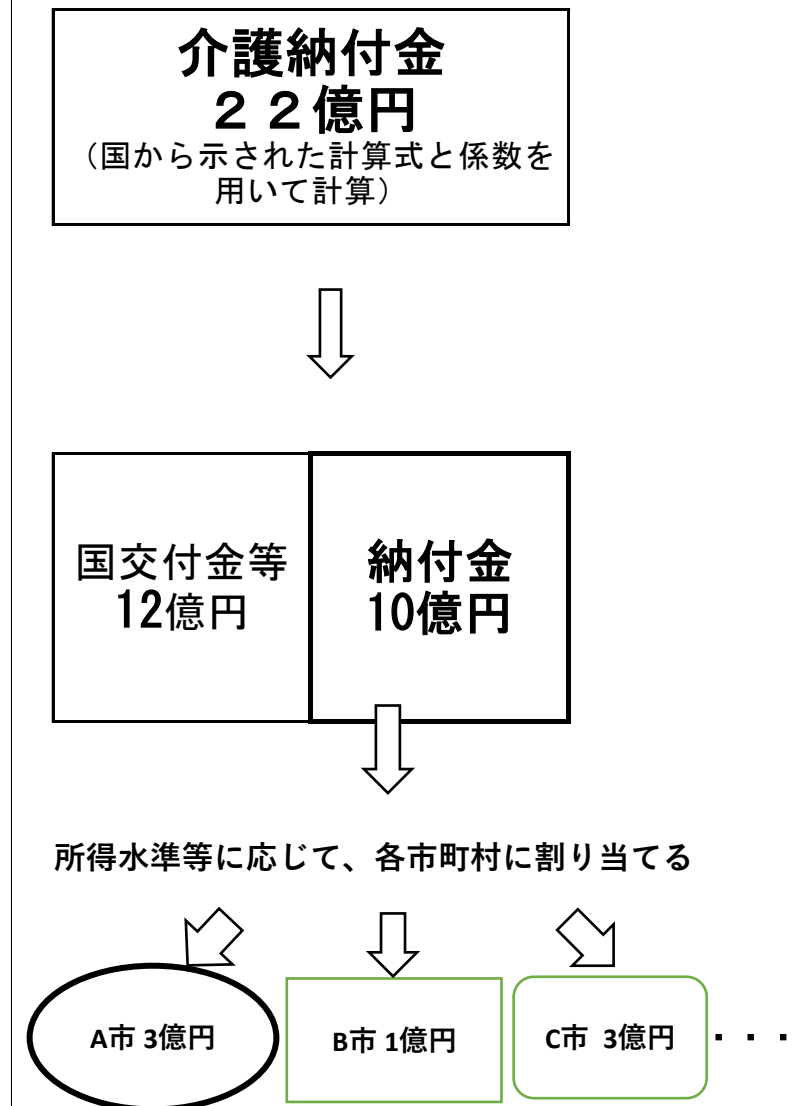
（2）後期高齢者支援金分

75歳以上の高齢者が加入する後期高齢者医療制度への拠出金



（3）介護納付金分

40歳以上65歳未満の被保険者が納める介護保険料



2. 保険料収納必要額（※）（A市の場合）

【支出】

A市の納付金 48億円 （医療分＋後期高齢者支援金分＋介護納付金分）	
---------------------------------------	--

【収入】

A市に直接交付される国・県交付金等 13億円 （保険者努力支援制度 等）		
	保険料軽減 7億円	保険料で集める保健事業分等 3億円

保険料収納必要額
38億円

市町村ごとに制度や取組が異なるため納付金には含めないが、標準保険料の算定ベースには含めるもの

- ・保健事業
- ・直診勘定繰出金
- ・その他諸費 等

※保険料収納必要額は、保険料率の標準値である「標準保険料率」を算出するために用いる値であり、市町村が被保険者から集める実際の保険料の額ではない。